

食品安全の向上における認定の力

2020年6月8日月曜日



2017年にグローバルフードセーフティイニシアチブ(GFSI)に参加して以来、GFSIと国際認定フォーラム(IAF)との関係をより強固なものにすることで、大きな価値を引き出すことができることは明らかでした。IAFは、航空宇宙から自動車、食品、情報通信技術など、あらゆる産業と連携しています。

GFSIの母体であるザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム(CGf)がIAFの会員であることのおかげで、認定された証明書の信頼性を保証するためのIAFの活動に、積極的に参加し、影響を与えることができます。また、IAFとGFSIの間で数年にわたって作成されてきた[了解覚書](#)の署名を締結できたことを光栄に思います。私は終始、とても歓迎されていると感じました。IAFはGFSIおよび食品業界と協力できることに非常に楽しみにしています。

そのような機会の1つは世界認定デー(#WAD2020)であり、GFSIは今年再びサポートできることを嬉しく思います。この国際的な記念日は、世界中の消費者に安全な食品を保証する上で、認定が果たす重要な役割に対する意識を高める絶好の機会です。

世界がCOVID-19による前例のない脅威に直面する中、私たちGFSIは、消費者の安全とサプライチェーンの整合性をグローバルにサポートするためにたゆまぬ努力を続けてきましたが、その重要性ややり

がいは、今まさにこれまでになく高まっていると言えます。そのため、IAF にとっては、2020 年版のテーマである「認定：食品の安全性の向上」に注目する機会として、これ以上のタイミングはありませんでした。

このテーマは、2020 年 2 月に GFSI 理事会が『[Race To The Top](#)』と名付けた GFSI の野心的な近代化計画への絶好の踏み台であり、GFSI 認証に対する信頼に関連して GFSI が直面してきた具体的な課題に対処することを目的としています。この計画を実現する上で、IAF と GFSI のパートナーシップは重要な役割を果たし、IAF WG Food は、2019 年 10 月に技術委員会によって設立された、この連携を支援するタスクフォースを通じて、GFSI を積極的にサポートすることを約束しています。

[GFSI エキスパートシリーズ](#)の一環として、IIOC 会長で IAF 執行委員会のメンバーでもある Marcus Long、および 2020 年 5 月まで IAF Food group の共同議長を務めた Skip Greenaway とともに、認定の重要性、IAF と GFSI のパートナーシップの価値、そして世界認定デーへの期待について話し合う機会を得ました。

Marcus Long は、2020 年のテーマの背後にある目的を説明し、以下の様に述べています。「世界認定デーは、2 回目を迎えた国連世界食品安全デーの 2 日後にあたるため、私たちのシステム（GFSI システム、認証、認定）が世界の食品安全の向上にどのように貢献できるかを宣伝する絶好の機会となります。規制当局、政府、企業、そして消費者に向けてこのメッセージを発信する絶好の機会でもあり、たとえば、ここには強力で堅牢なシステムがある、と言えるでしょう。私たちが今求めているのは、それらのテーマを取り上げて、私たちの取組に巻き込んでいくことです。...今続いているこのレベルのダイナミズムや専門知識を結集して積極的に取り組み、物事を改善したいという人々の精神は本当にエキサイティングです。」

Skip Greenaway は、認定が非常に重要である理由を検討しました。「私たちが忘れないようにしなければならぬ重要な要素の一つは、『認定』という言葉だと思います。私の考えでは、GFSI の力は、認定が GFSI の製品や GFSI が何をしようとしているかだけでなく、IAF にとっても重要であるという事実から認識することができます。...世界中のすべての活動の背後には認定という言葉があります。食品の話、航空宇宙の話、自動車の話や社会的責任の話をしていても、その背後にあるのが「認定」という言葉です。これは、率直に言って、私たち全員が正しいことをするのを助けてくれる独立した監視の強さと力を与えてくれます。私にとって、食品安全は競争の場ではありません。私たちが誰であろうと、誰と競争しようとしても、食品安全は絶対に必要なことなのです。世界をより安全な場所にすることを約束しなければならないのですから。」

私はまた、この機会に IAF-GFSI パートナーシップの現状について彼らに尋ねました。「ここ数年経験したことをあなたがどう感じているか、あなたの考えを聞かせてください。」

Marcus氏は次のように述べました。「認定コミュニティ、認証コミュニティ、GFSI理事会の間で今週行われたいくつかの議論によると、私たちは大幅な変更を行うという非常に高いレベルの意欲があり、私たちのパートナーシップと、私たち全員がそれを改善しより安全な食品を提供するために、投入すべきいくつかの価値と強みを持っているという事実を認識しています。これを前進させ、より多くのことを行い、より安全な食品を提供するために、より良いことをしたいという前向きな感覚があります。」

GFSIを代表して、世界認定デーにできる限りの方法で参加し、この活動をサポートし、食品の安全を維持するために活用法を示すことをお勧めします。キャンペーンの詳細と役立つリソースは、[IAFのWebサイト](#)に掲載されています。Twitter、LinkedIn、Facebookにおいて、ハッシュタグ#WAD2020と#GFSIがついた皆さまのメッセージをチェックします。

このブログは、次の人によって執筆および寄稿されました。



コンシューマー・グッズ・フォーラム
グローバル・フード・セーフティ・イニシアチブ
シニアテクニカルマネージャー
マリー＝クロード・クエンティン